

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
第 8 号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 2 年 10 月 1 日 (木)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 『皆でやる』

校長 小熊 誠

9月19日、皆様のおかげで令和2年度第67回大原中体育祭が実施できました。コロナ禍の中、本年度初めて大原中全員で、皆で実施した最初の行事です。まずは、実施できたことに感謝です。そして、応援もお断りしたのにも関わらず温かく見守っていただいた保護者の皆様、毎日大きな音や砂埃など御迷惑をおかけした地域の皆様に感謝です。そして、生徒達や教職員に優しい、いい天気感謝です。生徒と教職員が校庭に集合した様子に、喜びと幸せを感じました。これが、あるべき学校の姿です。



今、コロナ禍の中、学校でやるべきことが問われています。私は、学校でやるべきことは、『皆でやる』ことだと考えています。皆で、学び、競い、創り上げ、分かち合うこと。そして、学校の主役である生徒たちの活躍の場を、輝く場を創ること、それが学校です。例えば今回の体育祭、皆で、目標を設定し、選手を決定し、作戦を考え、実行し、さらに試行錯誤を繰り返し、再度実行しました。これこそ学びです。そして、皆で試行錯誤した作戦を基にクラス心を一つに全力で競い合いました。競技をする選手だけでなく、準備や後片付けも含め係の仕事をする皆、応援する皆で創り上げました。皆でドキドキ感、喜び、楽しさ、イライラ感、悔しさ、辛さ、後悔、満足感、達成感、嬉しさを分かち合い共有し始めています。まさに、今、文部科学省が推奨する、主体的・対話的で深い学びそのものです。実際、生徒達は、コロナウイルスの予防・拡散防止、熱中症予防、ケガの予防と沢山の守らなければならない制約の下、やれるべきことをしっかりと考え、守り、本当に一生懸命に活動していました。生徒たちの一生懸命の姿は、美しかったです。そして、マスク越しにもわかる笑顔、輝いていました。極めつけは、体育委員長の最後の言葉です。その一説を載せます。 < 今回のスローガン「一回しか言いません。勝負は一瞬、笑舞は一生」のように競技する時間あっという間でしたが、一人ひとりの心に長く残る体育祭になりました。また、体育祭が成功したのは、僕たちの力だけではありません。体育祭の準備や運営に携わって下さった先生方がいてこそです。先生方への感謝の気持ちを絶対に忘れないようにしましょう。 > 涙がでました。感動です。やはり、『皆でやる』ことにこそ大きな意義があります。

9月28日からは新人戦も始まりました。皆の代表として、3年生の思いを胸に1,2年生が勝負に向かいます。先日放送で実施した壮行会では、新部長達の熱い決意が語られました。キーワードは、「感謝と挨拶」でした。体育委員長の言葉からしっかりと繋がっています。きっと生徒達は、感謝の気持ちを力に変えてそれぞれが納得のいく勝負をしてきてくれると信じています。応援をよろしく願います。

次は10月23日の合唱コンクールです。生徒達の健康を第一に考え、今できる感染予防・拡散防止対策を万全に、実施していきたいと考えています。委員会の指導も仰ぎながら、市内全ての中学校とも情報を共有し、万全を尽くしていきます。当日も会場である市民会館おのみやと協議を重ね、客席の十分なソーシャルディスタンス、ステージも合唱に耐えられる特設ステージを設置していただく予定です。今後も、国の動向に注視しながら、できる対策は直ちに取り入れていきたと考えています。なお、今回も保護者・地域の皆様の入場はお断りしないといけません。申し訳ございません。

生徒達を、守り、磨き、輝かせ、【希望の登校 笑顔の活動 満足の下校】を実現させていくには、『皆でやる』ことの意義は大きいと信じています。今こそ、学校のやるべきことをやる時です。それには、保護者・地域の皆様のお力がどうしても必要です。生徒、教職員はもちろん、保護者・地域の皆様を合わせて「チーム大原中」です。どうぞ保護者・地域の皆様、御理解と御協力、そしていつも通りの温かい御支援をよろしく願います。皆で、日本一の「チーム大原中」を創っていきましょう。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校